

広報 あさひまち

2003年11月号

No. 564

特集／朝日分校の跡地利用を考える
町政スボット／第43回衆議院議員総選挙結果
平成15年度上半期の財政状況を公表 ほか
カメラさんぽ／海の子と山の子の交流第2弾!
まちの話題／第20回アツフル町民駅伝 町体育協会文部科学大臣表彰
ユニカ・ミルタCM撮影 ほか



夢みる音楽会

主催 価値ある水本小を活かす会「生薙会」

協催 旧水木学区子供会育成会
PTA
水木区立作谷小学校
山辺町立宮宿小学校
朝日町立宮宿小学校

1年ぶりの校会に子どもたちの歌声がひびく
『夢みる音楽会』宮宿小と作谷小との大合鳴



現地に足を運んで調査する参加者たち(第1回ワークショップ)

い年齢層の方々から貴重な意見や感想を述べていただきました。机上だけで手探りの話し合いでもないということから、一回目のは、現地を直に歩いてみていろいろ観察する作業が午前中に行われました。午後からは、現時点で良いところと良くないところの識別、将来こうなつたらいいのになあという夢や期待感を参加者全員が発表しあい、それを班ごとにまとめていく作業を行いました。

二回目は、それぞれの意見を「敷地内の施設に関する提案」「樹木・植物に関する提案」「景観・環境に関する提案」「祭り・イベントに関する提案」「丘周辺の資源に関する提案」「その他の提案」の六つの提案事項に区分し、まとめ上げる作業を行いました。栄町・助ノ巻区の班については、「みんなで造ろう健康の森!」をテーマにそれぞれの意見や要望をまとめ上

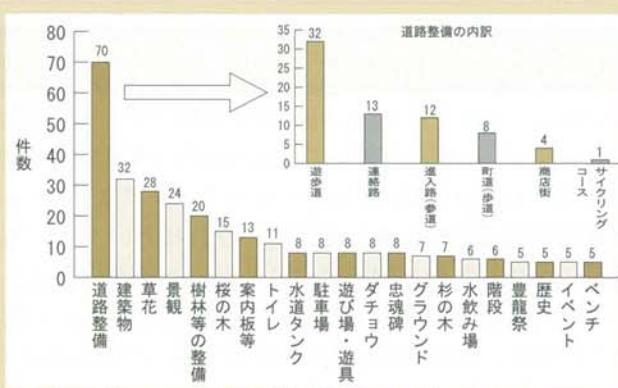
その内容をみてみると、公園内の遊歩道や公園までの連絡路などをはじめとする、道路整備に関する提案が最も多かったようです。次に、建築物に関する

進んで行ってみたくなるような公園に

提案が続きますが、景観に関する提案や草花や樹木等の整備についての提案が多いことも注目すべきことです。その他に、ダチョウの展示圃に隣接する敷地とい

キーワード別提案(4件以下)

- 4件／展望台・電柱・配水施設
- 3件／記念碑・野外コンサート場・多目的広場・売店・休憩場・鳥居・公園・ワインまつり・最上川・商店街
- 2件／花見・山菜・花火大会・グラウンドゴルフ場・資料館・マップ・シンボルタワー等
- 1件／芝居広場・浄水場・体育館・きれい・安心・熱気球・開発・釣り堀・花壇・ゲートボールコート・史跡・田丸館・そば屋・ケーブルカー・ドックランコース・手洗い水・スポーツジム・自転車コース・木洩日・自然・ウォーキングコース・名所・大朝日・祭り・市神様・施設・りんごタワー・観光物産館・街並・自然石モニュメント・樹木医・木の実・農地



【図1】キーワード別提案件数(重複あり・5件以上ののみ)

うこともあり、ダチョウと一緒に的な整備を図る必要があるという意見。町内外の人たちが、進んでそこに行つてみたくなるような施設が整備されれば、人の流れが生まれるので、そこから地元商店街の活性化につなげていくことも重要なことであるといふ意見。現代社会に必要な癒しの空間として花塚の建立。中には、公園の高台から校舎跡地まで大きな滑り台の設置や八ツ沼・豊龍の丘・館山を結ぶケーブルカーの設置など、奇抜なアイディアも出されました。

これらの様々な意見を最終的にまとめ上げたものが、十一月二十三日に開催される第三回のワークショップで報告されることになっています。このワークショップは、これまで開催された内容とは異なり、ワークショップに参加していなの方でも自由に参加できます。

また、当日は、報告のほかに先進事例の発表（山形市・金山町）もあります。住民のみなさんの最終的な意見を集約する場ともなりますので、是非多くのみなさんから参加をいただき、これまで守ってきた私たちの大切な宝を更に光り輝くものにして整備していきたいものです。

「こんなふうになつたらいいな…」

ワークショップに参加した人たち

心の豊かさを取り戻す^{いや}癒しの空間「花塚」の設置

今回のワークショップの案内をお知らせ板で見たとき、長い間考えていたことが実現するかもしれない密かな期待を持ちました。以前から町のどこかに「花塚」をつくりたいという願いがあったからです。金銭的な豊かさだけが先行し、心の豊かさが忘れられた現代だからこそ、華を生けたときに感じる心の安らぎのようなものが必要になってきているものと思います。町民のみなさんにとて、目に見えるもので癒しの場となるものは何かと考えたときに思い浮かべるのが「花塚」です。町の中心部に位置する豊龍の丘には、是非「花塚」の設置をお願いしたいと思います。



長岡京子さん(西町)

きれいな公園を維持するために協力は惜しまず

41歳から65歳までの男性で構成する「創和会（渡邊宏一会長）」が10年ほど前に本町区に結成されましたが、分校の閉校後から現在まで年2回ほど、桜の木の剪定や枯れ枝拾い、草刈りなどの公園の整備をさせていただいています。

わたしは、町外の人にも愛される公園になってほしいと思います。健康志向の高まりで朝や夕方にヘルシーウォーキングに励む人たちが増えていますので、遊歩道の整備に関して、足に優しいウッドチップ（木片）を敷き詰めた路面などはいかかでしょう。

みんなが愛着を持てる豊龍の丘に。きれいな公園の維持に協力は惜しみません。



多田孝雄さん(本町)

人の流れが商店街の活性化につながります

朝日分校は、私にとって思い出の多い母校です。春は花見、夏は花火、秋は芋煮会、冬はソリ乗りと、年間をとおして家族みんなで集える場が整備されてほしいものです。うさぎなどの小動物と戯れることのできるエリアなどもいいですね。

宮宿商店街の活性化にもつなげていければという思いも強くあります。しかし、町の特産品にちなんだ商品開発をはじめとする活性化策は、のちに商店街で探っていくことだと思いますので、今回の整備でまずは人の流れが活発化してくれることを願っています。この地に多くの人が立ち寄ってくれるようになることを望みます。



鈴木良子さん(大町)

ワークショップで話し合われた住民による提案

今すぐ実施

■自分たちがやって成功すること

- ①忠魂碑周辺につつじ等の植栽
- ②公園全体の維持管理やイベントについては組織をつくって実施
- ③商店街にプランター
- ④木登りなど子どもが自由に創作的に遊べる場所の設置
- ⑤神社周辺に植樹

■行政と協力し合って成功すること

- ①ダチョウ園からの連絡道の設置
- ②公園全体の案内板と石碑などに関わる説明板の設置
- ③貯水タンクに夢のある絵
- ④桜の木の整備（枯木の伐採・植栽・手入れ）
- ⑤北側斜面の杉の木を皆伐し公園全体を明るく
- ⑥眺望が良くなるような遊歩道周辺の間伐
- ⑦東西南北に視点場の確保
- ⑧清水周辺の整備
- ⑨遊歩道に名前（公募）
- ⑩新しい連絡道の設置
- ⑪豊龍神社の大杉を守る
- ⑫豊龍の丘でのこれまでの出来事を紹介したエピソード板の設置

■行政がやって成功すること

- ①駐車場の整備
- ②駐車場付近にトイレの設置
- ③グラウンド跡地を多目的広場に
- ④公園周辺の遊歩道が足に優しい素材の木材チップや土舗装に
- ⑤グラウンドと公園高台に間伐材を利用したベンチの設置
- ⑥街路灯の設置
- ⑦駐車場脇に子どもが遊べる遊具の設置
- ⑧植生を調査した上で公園周辺の雑木

の間伐

- ⑨校舎跡地前の廃屋の解体撤去
- ⑩ゴミ箱は設置しない
- ⑪公園までの案内看板の設置
- ⑫遊歩道にフットライトの設置

2~3年の間に実施

■自分たちがやって成功すること

- ①草花の説明板の設置
- ②ダチョウ園を見やすく整備
- ③駐車場内に自動販売機
- ④草花での遊び方等の説明板の設置
- ⑤宮宿商店街の活性化

■行政と協力し合って成功すること

- ①忠魂碑周辺の整備
- ②配水池の周りに生き垣の設置
- ③公園への連絡路（4箇所）の整備
- ④公園周辺の斜面に春夏秋それぞれの季節毎に美しく見える花木の植栽
- ⑤校舎跡地の斜面に花壇の設置
- ⑥ヒメサユリの群生地に
- ⑦年間を通してイベントの開催
- ⑧豊龍神社の歴史・公園の変遷についての案内板の設置
- ⑨眺望の説明板をさりげなく設置
- ⑩ダチョウグッズの直売
- ⑪犬が遊べるスペースの確保
- ⑫配水池を展望台に
- ⑬光のネットワーク遊びができる施設（東屋）の設置
- ⑭東屋を2棟設置
- ⑮歴史学習スペースの整備
- ⑯階段を木（凝木）で整備
- ⑰水神様の井戸の復元
- ⑱駐車場付近に産直スペースの確保

■行政がやって成功すること

- ①公園高台に東屋の設置
- ②農作業器具収納小屋の解体撤去
- ③敷地内の案内板を駐車場に設置
- ④テニスコートや池の整備
- ⑤自然エネルギーを利用した街灯の設置
- ⑥ダチョウ展示圃に駐車場を整備
- ⑦北側斜面にフィールドアスレチックやローラー滑り台の設置
- ⑧公園高台付近に子どもの遊び場として遊具やモニュメントの設置
- ⑨公園高台の東屋付近にトイレの設置

時間をかけて実施

■自分たちがやって成功すること

- ①市神様付近に大きな鳥居の復元
- ②神社内で豊龍市の開催
- ③豊龍まつりの神楽や御輿の展示

■行政と協力し合って成功すること

- ①貯水タンクを樹木で隠す
- ②分校の鐘の模様替え
- ### ■行政がやって成功すること
- ①豊龍神社参道入口の交差点改良と参道の拡幅及び石畳の路面に
- ②保育園の設置で賑やかに
- ③老人ホームの設置
- ④神社参道の電線の地中化
- ⑤公園高台から校舎跡地まで大きな滑り台の設置
- ⑥八ツ沼・豊龍公園・館山を結ぶケーブルカーの設置
- ⑦豊龍館跡の復元
- ⑧市神様の交差点改良
- ⑨商店街の歩道から縁石をなくしカラー舗装に
- ⑩ダチョウ園付近の道路を広く

子どもたちが自然に親しむ 世代間交流の場を

3人の子を持つ一人の母親の立場で豊龍の丘の整備を考えてみたとき、わたしは子どもたちが秘密基地と称したこの場所を都会の公園と同じにしてほしくないと思いました。可能な限り自然をそのまま残し、そこに住む虫や動物、時には植物などに話しかけながら子どもたちが戯れる環境を整備してほしいと思います。高台になる公園ということもあって、なかなか大人の目が届かなくなることも事実なので、その点に工夫が施された施設の在り方が重要になってくると思います。

今後、豊龍の丘が世代を超えた交流の場になれば、すばらしいことだと思います。



富樫明美さん(助ノ巻)

町内外から人を呼べる継続的なイベントの開催

昔は自然と人の寄ってくる公園でした。町内外からいかにしてこの地に誘客するか。そういう具体的な施策が必要かと思います。土日のみ開催でもいいので、わざわざ行ってみたくなるようなイベント、人を引きつける継続性のあるイベントがあればと思います。例えば、ダチョウで名を売る朝日町であればダチョウの曲芸やダチョウレークなどが考えられますね。ダチョウならダチョウに拘ったイベントや祭りの創造を。

元気なイベントで誘客が図られ、リピーターを得ることができれば、隣接する商店街への波及効果も期待できます。若者たちが活気づくきっかけにもなるはずです。



近藤 武さん(栄町)

異常気象災害に対する条例が制定

II 10月20日臨時議会で可決 II

町では、九月二日の「水稻の生育・不穏状況調査」の結果、低温と日照不足による被害で、不穏率が20%を超えている地区が多くなにより、十月二十日、臨時議会に「異常気象災害に対する町税の特例に関する条例」を提案、可決されました。

過去における冷害被害では、昭和五十年度、昭和六十三年度と平成五年度。台風被害で平成三年度、平成八年度は降雨被害としての特例に関する条例制定は平成五年度に次ぐ十年ぶりの制定となります。

この条例制定により、異常気象（低温・日照不足）で水稻等の農作物に被害にあわれた農家の方を対象に、町税等の减免措置を行うことになりました。今回减免されるのは、町民税と国民健康保険税並びに介護保険料です。

また、减免の対象となる方は、平成十五年中の水稻等の農作物収入（農業共済金の受取を含む）が、平年水稻等農作物収入額の30%以上被害にあった方で、平

成十四年中の合計所得が一千万円以下並びに平成十四年中の農業所得以外の所得が四百万円以下の方が対象になります。ただし、水稻の被害が30%以上であっても、他の農作物の収入が多い方や町県民税が非課税、または均等割のみの方は該当にはなりません。ご注意ください。



水稻の不穏状況を調査

子育て支援の活動を紹介します

子育てしやすい環境の整備を望んで、町民の声に投稿してくださる方が、このところ増えています。そうした方々を支援しようと、町では様々な角度から事業を展開しています。

未入園児の子を持つ親と子を対象に、親同士あるいは子ども同士の交流の場と、育児に対する相談などを受ける場として、ふたば保育園では「なかよしルーム（毎月第2・4火曜日の午前中）」、さゆり保育園では「わんぱく広場（毎月第3火曜日の午前中）」、生涯学習課（創遊館）では「よちよちクラブ（毎週木曜日の午前中）」をそれぞれ開設しています。また、入園児の子を持つ親と子を対象に、同じような事業「どろんこ（年少・年中・年長組それぞれ年2回ずつ）」がわかば保育園に開設。同年齢の中での我が子の様子を知る機会にもなっています。

子育て支援センターがふたば保育園内

に設置され2年目になりますが、センター独自の事業としては、子どもをみる人がいない時、一時的に預かるあるいは預かり合う「ファミリー・サポート活動（現在38名の会員で活動中）」への支援。更に、保育業務を出前で行う「出前保育」などがあげられます。町内3保育園から距離的に離れた地域を会場にして、そこにセンター職員と地元の保育園児が出向いて行くことで、親同士の情報交換の場と入園児と未入園児との交流の場にもなっています。

その他の支援事業としては、当センターと健康福祉課及び生涯学習課が連携しあい実施している「おこりんぼママのしつけ教室」や「のびのび育児教室」などがあります。がんばりママたちが独自に立ち上げたサークル「Boo Hoo Uoo」の活動も、子育て支援活動の重要な一端を担っています。



子育て支援センター ☎ 67-2268



今平ふれあい交流センター落成式

秋晴れとなった10月14日、今平ふれあい交流センターの落成式が行われました。

これまで今平地区農村公園だった敷地内に建設された施設は、建築面積が 108.34m^2 (床面積が 97.00m^2)で総事業費は2,200万円、体の不自由な方にも優しい設計が施されている1階平屋建てで、介護予防等拠点整備事業(国庫補助事業)として町が事業主体となって整備を進めてきたものです。同じ補助事業として整備したのは、高田区・中沢区の施設に続き今回が3件目になりました。

ます。

今平区長の鈴木今治さんは、「戸数が14戸と少なく高齢化が進む中でも、この施設をとおし区民の融和と交流を図り集落の活性化につなげていきたい」と抱負を語ってくれました。

落成式の賄いを担当した女性の人たちも、「流しが広くて使いやすい。明るいし、トイレもきれい。何かあればここに立ち寄ってみたくなるような施設です」と喜びの表情を隠せない様子でした。

第43回衆議院議員総選挙結果 小選挙区の投票率80.47%

衆議院の解散とともに第43回衆議院議員総選挙の投票が11月9日、町内20投票所で午前7時から一斉に行われました。

今回の選挙は、行財政改革をはじめ、景気の回復や雇用対策、年金・医療・介護などの社会保障制度改革、自衛隊の海外派遣など、課題が山積した中での選挙戦ということもあり、各政党が「マニフェスト（具体的な政党公約）」を掲げることで、いかに有権者の支持を得られるかが焦点となりました。21世紀の新しい時代を迎える日本の政治のあり方が問われる重要な選挙と言わっていましたが、全国の最終確定投票率は59.86%で過去最低だった1996年の前々回（59.65%）に次ぐ史上2番目に低い投票率となりました。

朝日町については、小選挙区（山形2区）で80.47



%（県内全体では69.60%）という県内で第8位の投票率でしたが、前回の2000年衆院選と比較して3.55%低い結果となりました。

小選挙区と比例区の結果は次のとおりです。

■小選挙区（山形2区）

	氏名	所属	得票数
当	遠藤 武彦	自由民主党（前）	2,936
次	近藤 ようすけ	民主党（新）	2,691
	横山 けんじ	日本共産党（新）	262
	無効		126
	計		6,015

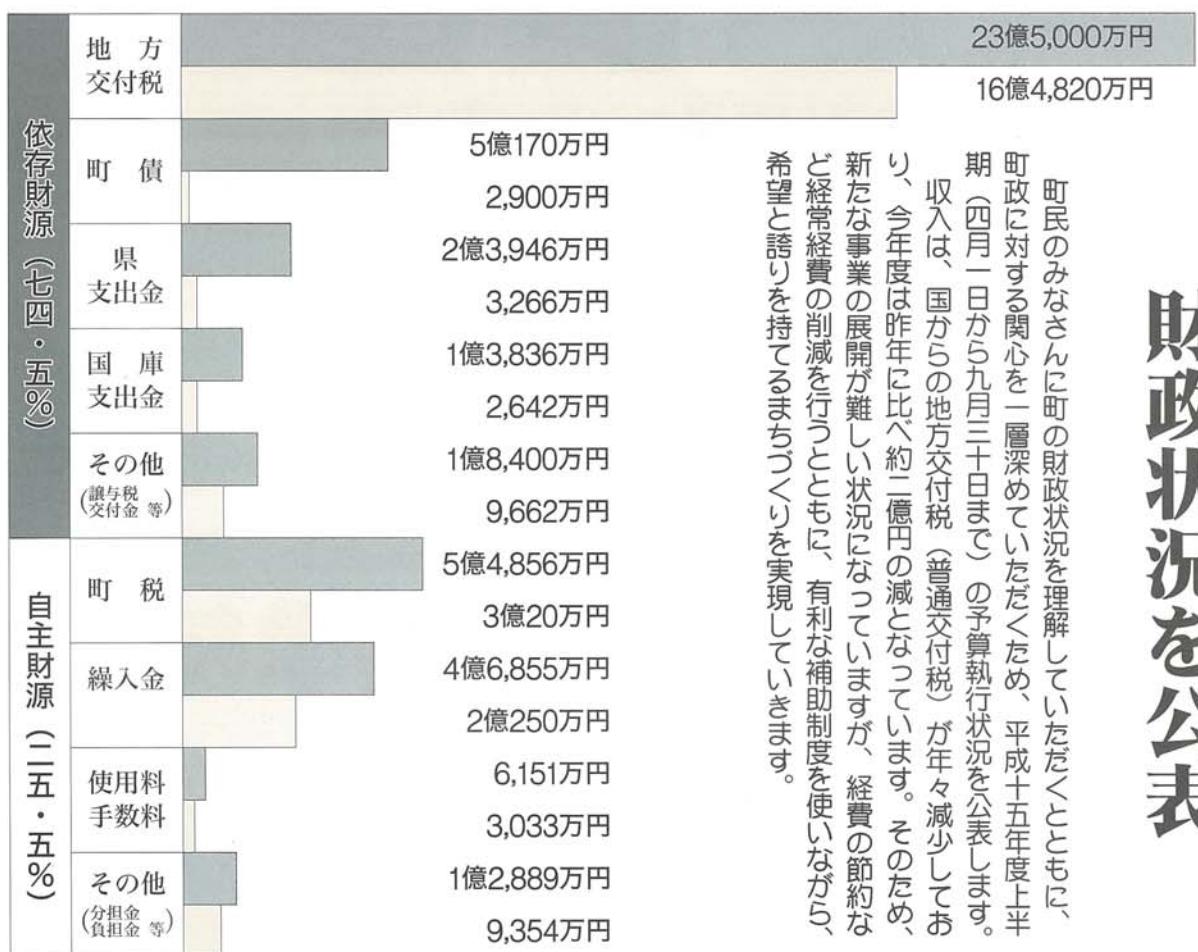
■比例区

政党名	得票数
自由民主党	2,456
民主党	1,673
公明党	1,052
社会民主党	320
日本共産党	318
無効	194
計	6,013

希望と誇りを持てるまちづくり

■一般会計予算歳入執行状況

■予算現額
■収入済額



町民のみなさんに町の財政状況を理解していただきとともに、市政に対する関心を一層深めていただくため、平成十五年度上半期（四月一日から九月三十日まで）の予算執行状況を公表します。収入は、国からの地方交付税（普通交付税）が年々減少しており、今年度は昨年に比べ約二億円の減となっています。そのため、新たな事業の展開が難しい状況になっていますが、経費の節約など経常経費の削減を行うとともに、有利な補助制度を使いながら、希望と誇りを持てるまちづくりを実現していきます。

平成15年度上半期の財政状況を公表

■主な使いみち



防火水槽の設置

火災などの有事の際、水利の確保が困難な町内3箇所（西町、能中、中沢）に40トン級の防火水槽を設置した。

事業費総額 10,552,500円



合併処理浄化槽へ補助

快適な生活環境づくりを進めるとため、合併処理浄化槽の設置を推進。9月末日まで43基（補助金支払済30基）が設置された。

補助金総額 28,600,000円



各種健（検）診事業

生活習慣病の予防と早期発見のため、35歳以上の方を対象に各種健（検）診を実施した。受診者数1,759人。その他、健康教室

事業費総額 20,713,171円

町の台所事情 (平成14年度決算より)

■町有財産の状況

土地	261万5,857m ²	建物	6万5,538m ²
温泉権	1,850万円	有価証券	7,162万円
出資金	5,470万円	預託金	0万円
出捐金	3,671万円	基金積立	9億8,191万円

■地方債(町の借入金)の状況

一般会計	72億1,606万円
集落排水事業	2,363万円
病院事業	8億9,519万円
水道事業	3億9,748万円

■主な財政指標

区分	朝日町 平成14年度	朝日町 平成13年度	県内市町村 平成13年度	全国類似団体 平成13年度
経常収支比率	96.1	95.4	84.5	82.5
公債費負担比率	28.2	26.3	20.0	18.3
公債費比率	17.6	16.2	16.2	14.7
起債制限比率	11.7	11.5	10.7	9.2
財政力指数	0.20	0.19	0.31	0.25

※平成14年度については未確定

用語の解説

経常収支比率

支出のうち人件費、扶助費、公債費など毎年必ず支払う義務的性格の経常経費に、毎年常に入ってくる町税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源の収入がどの程度充当されているかの割合。町村では70%程度が妥当と考えられています。

公債費負担比率

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合。この割合が高いほど、財政運営が厳しい状況にあることを示します。

公債費比率

標準財政規模(町税、地方交付税、地方譲与税などの経常一般財源の収入額)に対する公債費に充当した一般財源に占める割合。

起債制限比率

公債費比率の算出の際に使用された標準財政規模と公債費充当一般財源から、普通交付税に算入された地方(町)債の元利償還分を控除して算出した割合。

この比率が3カ年平均20%を超えると、地方債の発行(町がする借入)が制限されます。

創意と工夫で実現

■一般会計予算歳出執行状況

■予算現額
■支出済額



■会計別予算および收支状況 (単位: 万円)

	予 算 額				收 支 額			
	当初予算額	補正予算額	繰越事業	予算現額	収入済額	対予算比(%)	支出済額	対予算比(%)
一般会計	446,200	10,620	5,283	462,103	245,947	53.2	207,467	44.9
特別会計	267,350	9,747	0	277,097	119,304	43.1	115,351	41.6
集落排水事業	1,300	0	0	1,300	685	52.7	428	32.9
国民健康保険	86,300	8,000	0	94,300	43,888	46.5	41,954	44.5
老人保健	115,200	1,310	0	116,510	48,159	41.3	48,076	41.3
住宅団地造成事業	510	0	0	510	545	106.9	2	0.4
介護保険	64,040	437	0	64,477	26,027	40.4	24,891	38.6
企業会計	117,500	250	0	117,750	54,577	46.3	50,732	43.1
病院事業	99,800	0	0	99,800	44,425	44.5	46,014	46.1
水道事業	17,700	250	0	17,950	10,152	56.6	4,718	26.3
合 計	831,050	20,617	5,283	856,950	419,828	49.0	373,550	43.6

※病院・水道事業会計は、収益的収支。



歓迎セレモニーで和合っ子が青空高く響き渡る「和合太鼓」を披露すると、エールを交換するかのように七ヶ浜っ子が立ち上がり「松小太鼓」を披露してくれました。



● 本場山形芋煮に舌鼓 ダチョウに感激！

海の子と山の子の交流 第2弾！ 山形県朝日町の巻

一行はまず、世界のりんご園でりんご狩りを体験。その後、立木の河川敷で本場山形流の芋煮を体験。秋の風味を満喫した後、色付き始めた参道を散策し空気神社を参拝。疲れもピークに達した頃に3匹のダチョウを見学。子どもたちの表情が一転して笑顔に変わった瞬間でした。たった一日の様々な体験をとおして交流した子どもたち。この思い出は、強いて結ばれた友情の輪となつていこうことでしょう。

宮城県七ヶ浜町の松ヶ浜小学校と和合小学校との二回目の交流会が十月十一日、朝日町を会場に開催されました。広報あさひまち八月号のカメラさんぽで紹介した内容は、山の子（和合っ子）が海の子に会いに行くものでしたが、今回はその逆で、海の子（七ヶ浜っ子）が山の子に会いに来たもの。

歓迎セレモニーでの思いがけない太鼓

の共演が、参加者たちの七円（一回目の交流会）の記憶を呼び起こさせたようです。



もぎたての甘酸っぱい味に、七ヶ浜っ子の表情から笑顔があふれていました。



そよ風と川のせせらぎを肌に感
じながら、自分たちで作り上げた
期待度満点の鍋に舌鼓を打って
いました。



世界にたった1つしかない「空
氣神社」への参拝。みんなは、いつ
たい何をお願いしたのかな？



最後はダチョウに会いました。
ダチョウに元気をもらった子どもたち。



両校の固い絆を確認し合い、傾き
掛けた夕日を背にしながら、七ヶ浜っ
子たちは奥羽山脈の向こうへと帰つ
ていきました。

まちの話題

①第20回アップル町民駅伝競走大会



最終区で逆転! 上郷2年ぶり3度目の優勝

今年で20回目を迎えるアップル町民駅伝競走大会が10月12日、町内を一周する11区間24.9キロを舞台に開催され、上郷チーム（柴田実監督：宇津野）が逃げる大谷風チームをアンカー（最終区間）で逆転し、2年ぶり3度目の優勝を果たしました。

レースは序盤から上郷と大谷風の一騎打ちの展開。それぞれ2区（宮宿小～和合選果場）に起用した東海大山形高3年の安藤茂昭選手（松原：上郷）と櫻井豊

選手（大谷五：大谷風）の両エースが他チームを寄せ付けない期待どおりの走りで3区にリレー。一歩リードする上郷を猛追する大谷風は、5区（大谷往来館～川通口）で志藤穂菜美選手（大谷六）が区間トップの走りで上郷をとらえると、その後も安定した力でタスキをリレー。第10回大会で優勝している大谷風としては、節目の大会に当たる今年もと最高の布陣で臨んだ今大会。しかし、堅実なレースを展開し最終区（旧上郷小～創遊館）に安藤秀也選手（松原）を起用した上郷が、逃げる大谷風をとらえそのままゴール。記念すべき今大会を制しました。

総合成績、区間優勝者については、次のとおりです。

【総合成績】①上郷 ②大谷風 ③三中 ④宮宿A ⑤中沢・玉ノ井 ⑥沢内 ⑦和合 ⑧松程 ⑨太郎 ⑩前田沢 ⑪大谷神 ⑫常盤 ⑬宮宿B

【区間優勝者】1区：菅井拓人（宮宿A） 2区：櫻井豊（大谷風） 3区：齋藤隆（上郷） 4区：児珠葵（太郎） 5区：志藤穂菜美（大谷風） 6区：浅岡拓也（宮宿A） 7区：清野正利（沢内） 8区：齋藤和彦（上郷） 9区：川村彩乃（大谷風） 10区：佐藤弘歩（和合） 11区：海野宏行（沢内）

③第39回朝日町芸術文化祭



生活に潤いと安らぎを

「わきあがる 心のいづみ 感動のとき」をテーマに、第39回朝日町芸術文化祭が11月2日と3日の2日間、創遊館ほか町内3会場で開催されました。芸能発表会では、大谷小学校鼓隊による演奏や和合小学校の和合太鼓が初参加。その他にピアノや日本舞踊、民謡の発表、子どもたちの絵画や書道、盆栽の展示などが行われ、多くの来場者に文化の薫りを届けました。

②第50回西村山地区駅伝競走大会

朝日A 4年ぶり19回目の優勝

コスモスが心地よく咲き誇る10月26日、西村山管内から7チームが参加し地区駅伝競走大会が行われ、記念大会にふさわしく朝日町Aチームがみごと優勝のテープを切りました。同チームの優勝は4年ぶり19回目となります。

創遊館前を午前9時にスタート。1市4町を巡り、フィニッシュとなる寒河江市体育館までの7区間61.3キロに健脚を競いました。朝日町Bチームは6位でした。

成績①朝日A【岡崎能行（下芦沢）、鈴木貴仁（前田沢）、安藤茂昭《区間賞・区間新》（松原）、鈴木智彦（杉山）、海野宏行（送橋）、長岡輝喜（寒河江市）、石黒宏《区間賞》（大船木）】②西川A③

大江④寒河江⑤河北⑥朝日B【登坂尚高（八ツ沼）、小野康仁（大谷六）、海野裕明（長沼）、齋藤隆（杉山）、佐竹勝（八ツ沼）、齋藤和彦（杉山）、安藤秀也（松原）】⑦西川B



⑥記念の名前入りりんご収穫



小さな両手に大きな夢

今年度大谷小学校では、創立130周年を迎えた記念事業に取り組んでいますが、白田栄一さん（大谷一）の畑をお借りして11月4日、りんごのもぎ取り体験が行われました。この日参加したのは、低学年の児童40人。透明のセロハンに黒マジックで「130」に因んだ言葉や夢など、思い思いの言葉を書き込み、りんごが色づく前の9月に貼り付け、ようやくこの日の収穫となったものです。

セロハンをはがし、白くくつきりと浮かび上がった文字や絵を見て子どもたちは、「もったいなくて食べられない。ずっとお家に飾っておこうかなあ」と小さな両手に大きな無袋ふじを手にしては、はしゃぎまわっていました。

園主の白田さんは、「130周年の記念事業ということで協力させていただきましたが、今後も継続していきたい。次回は、皮まるごとかぶりついで、りんごの真の美味しさを知ってもらいたい」と語ってくれました。

⑦ヒメサユリ花咲かじいさん大作戦

球根500球が一本松公園に

エコミュージアムのサテライトの一つ「能中一本松公園」で10月25日、公園を管理している能中区とヒメサユリ愛好会、町職員労働組合の合同企画で「ヒメサユリ花咲かじいさん大作戦」が行われました。

これは、「町の花・ヒメサユリの保護に関する条例」が制定されたのを受け、それぞれに得意な力を出し合いながら、ヒメサユリが群生する同公園の環境整備をしていくと平成13年度から実施されているもので、今年で3回目。町農業研究所より球根の提供を受け、定植作業を行いました。

当日は、さわやかな秋晴れにも恵まれ約60人が参加。スコップやクワで土を掘り起こし、かれんに咲くヒメ

④園児たちによる花植え

花も育てば心も育つ

さゆり保育園の園児たちによる花の植え付けが10月20日、さゆり保育園で行われました。地域の子どもたちが緑により親しめるようにと、保育園や小学校を対象に「コメリ緑資金の会」による花の苗やプランター、腐葉土や肥料など3万円相当の品物が提供されました。

参加したのはさゆり保育園の年長組31人。腐葉土と肥料を混ぜ合わせて土づくりをした後、パンジーとゴールドクレストの苗を優しく手にした園児たちは、「元気いっぱいに育ってね」と声をかけながらプランターに植え込みました。

「花と接している時の園児たちの笑顔が最高でした」と話すコメリ宮宿店店長の森山圭一さん。これからも継続してやっていきたいとのことです。



⑤第36回児童文化賞

西小さくらバンドが奨励賞を受賞

社団法人寒河江青年会議所が主催する第36回児童文化賞（SJC賞）で、西五百川小の「小さくらバンド」が奨励賞を受賞しました。町や地域での率先した活動が、多くの人たちに音楽の楽しさを与えたことが高く評価されたものです。

5、6年生全員で編成された本バンドは、校内の諸行事で演奏活動をするばかりでなく、町や地域の各種行事にも積極的に参加・協力し、各方面から賞賛の声をいただいている。今年は、「りんごの町の秋まつり（左写真）」や「交通安全町民大会」に参加しました。



サユリの花を夢見て、一つひとつていねいに植え付けました。

能中区長の海野祐吉さんは、「町民のみなさん的心のよりどころになるよう、これからも継続してかんばっていきたい」と語ってくれました。

⑧コニカ・ミノルタCM撮影

いや 癒しの空間 大暮山が放映中

大暮山を舞台に、9月28日から2日間にわたってテレビCM（コマーシャル）の撮影が行われました。町民のみなさんだけでなく全国のお茶の間のみなさんから、もう既にこのCMをご覧いただいているはずです。

そうです。旧大暮山分校が背景となっている、あの癒し系のCMです。「廃校となった校舎で壊れすぎていてもダメだし変に手が加えられていてもダメ。全国のいろんな所を見てまわりましたが、校舎自体も小川のせせらぎや民家の状況も、全てがイメージにピッタリ。それぞれの撮影場所がコンパクトにまとまっている」これらのが撮影舞台の決め手だったようです。

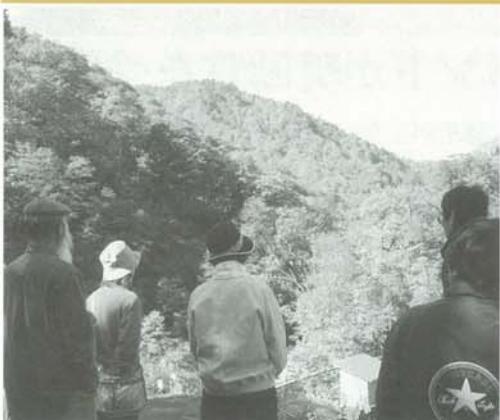
俳優の利重剛さんは、「きれいに保っていますよね。この校舎が映像としていつまでも残るわけだし、できれば本物も是非このまま残してほしくてほしいですね」。



女優の仙道敦子さんは、「雰囲気がとてもいい場所です。廃校となった校舎でも、できればなくさないでいてほしいですね」と一言。

撮影スタッフは、地元の8人を含めて全部で60人。流れゆく雲の合間から太陽が顔をのぞかせる一瞬を待ち続けての根気のいる撮影。キリッとした緊張感が走る中での撮影風景でした。

⑨エコ・ワークショップあさひまちの宝紀行



原生自然度日本一の朝日連峰

朝日町エコミュージアム協会主催による「第5回あさひまち宝紀行」が10月19日に開催されました。今回は秋の紅葉が美しい朝日連峰を訪ね、案内人の会の西澤信雄さん（西原）に朝日鉱泉宿の歴史や森ができるまでの植生の変化、木の大きさと樹齢の関係などを教わりました。

快晴の中ブナ林の少し手前まで歩き、そこで座って休憩しながら目を閉じて聞こえる音をみんなで数えてみました。川の流れる音や木の葉が風に揺れる音、鳥の鳴声、葉が散って地面に落ちる音などたくさんありました。また、途中の湧水や釣り橋から見える大朝日岳の景観を楽しみながら、朝日連峰の色彩豊かな紅葉を満喫しました。

⑩旧水本小学校夢みる音楽会

えさ 白鳥の餌を届けてください

白鳥が飛来する上郷ダム湖岸に餌箱を設置しようとする10月11日、旧上郷小学校区4区の子どもたちが白鳥の餌箱を製作しました。そして11月8日、代表する児童6人が集まって、製作者全員の名前の入った餌箱を設置しました。設置場所は、国道287号を白鷹方面に向かい、暖日橋口のT字路から約500メートル先へ行ったところを右側の湖岸に下りたところです。

参加した宮宿小6年の柴田由香さん（大滝）は、「白鳥はもう来ています。上郷の人たちだけでなく、その他の人たちにも見てほしいです。いつ餌をあげに



来ても、この餌箱がいっぱいになっているといいな」と語り、新築された餌箱にさっそく第1号となる餌の「パンくず」を収めていました。

⑪上郷ダム湖岸に白鳥の餌箱設置

1年半ぶりに子どもたちの声

学校はいつも地域の中心にありました。その学校が閉校してから1年半。校舎は原形を保とうと厳しい風雨に耐えながら地区のみんなを待っていてくれました。

11月8日、昨年3月に閉校した旧水本小学校の校舎で「夢みる音楽会」が開催されました。主催したのは、価値ある水本小を活かす会『生楽耕（代表：高橋寿之）』を構成するスタッフの面々。この校舎をなんとかしなければと各地から集まった有志は約50人。まずは音楽



会を実現させた。過去にこれほどの人数は入ったことがないくらいの盛況ぶり。宮宿小と作谷沢小の児童合同による「もみじ」の合唱や、中高生スタッフによる同校の校歌が久しぶりに流れると、会場は感動の渦に包まれました。

夢に向かってのワンステップ。これから生楽耕の活動が楽しみです。

⑭宮宿小サンに市に参加



みんなで育てた枝豆だ

実りの秋を迎えて、宮宿小学校の5年生が地域の先生の指導を受けて育ててきた枝豆「秘伝」が見事に育ち、創遊館前で毎週金曜日に開催している「サンに市」の方から場所を借りて、一日だけの直売所を開きました。

「おいしい枝豆ですよ！」と、かわいい売り声に、通りすがりの人たちも足を止め、用意した80袋の枝豆はあつという間に売り切れました。「やったー！完売だぞ！」と、子どもたちは大喜び。自分たちが一生懸命育てた「枝豆」を、みんなに買ってもらった喜びは、いつまでも忘れることのできない良い思い出になることでしょう。

⑮各種大会の成績

■山形県少年少女スポーツ交流大会

《剣道競技》10月5日(日)新庄市体育館

ブロック3位 宮宿剣道 大谷剣道

《ミニバスケ》10月5日(日)櫛引町スポーツセンター

ブロック優勝 宮宿女子ミニバスケ

■第33回山形県中学校新人体育大会 10月18日(土)

▼優勝△剣道／男子団体、村山仁(男子個人)△柔道／堀祐樹(男子個人48kg級)▼3位△剣道／女子団体、遠藤亞美(女子個人)△柔道／阿部香奈(女子個人70kg級)

■第38回西村山地区秋季ロードレース大会

10月19日(日) 寒河江市体育館前スタート・ゴール

▼優勝 佐藤弘歩(中学個人)、中学男子団体【佐藤弘歩・菅井修造・浅岡拓也】5連覇達成！

■第32回市民バーボール大会

11月9日(日) 町民体育館

△男子の部①レッドワインズ②ファイヤーマンズ③ペストフレンズ△女子の部①ASAHI MATE②ロゼワインズ③アイスワインズ



(高橋 諭)

⑯朝日町体育協会が文部科学大臣表彰



地域づくりへの貢献度が評価

昭和33年4月に設立された朝日町体育協会。このたび、町民の各年代層に合わせた各種スポーツ大会の開催で、町民の健康や体力の増進に寄与するとともに、スポーツによる地域づくりに貢献していることなどが評価され、社会体育優良団体として文部科学大臣表彰を受賞しました。

現町体育協会長の白田金次郎さん(大谷六)は、「今回の表彰は、これまで先輩方が築き上げてくれた功績の賜。そしてスポーツをこよなく愛し続けているみなさんがあってこそこの表彰です。これからも、健康な体づくりと地域の活性化のために、町民一人1スポーツに取り組んでいきましょう」と語ってくれました。

⑰日本建築学会朝日町フォーラム

研究者らの報告に熱心な意見交換

10月18、19日の2日間、日本建築学会農村計画委員会の2003年度秋季学術研究会が、「エコミュージアムと地域づくり—朝日町フォーラム」と題し、朝日町を会場に開催されました。学会からの要請を受け、NPO法人朝日町エコミュージアム協会が主管となり開催する運びとなりました。

1日目は、学会からの参加者35名が3コースに分かれ、NPOや町の案内人の会の会員らの案内で、町内のサテライトを視察。一般の参加者も加わった2日目は、創遊館を会場にフォーラムが開催され、NPOや案内人の会による実践報告や研究者からの報告に熱心に耳を傾け、活発な意見交換がなされました。



遠藤さんの宝は、大沼分校時代の生活でした。生まれた時から一緒に、わだかまりのない生活だったそうです。人数が少ないとまとまりがあり、子どもならではの純粋な感情のままに遊んだそうです。その時の体験が、今的孩子もの教育にとても役立っています。

のびのびとした時期にのびのびさせる、そしてできるだけ多くの体感をさせたいとおっしゃっていました。遠藤さんは、そういった宝体験にもとづき、子どもにできる限りのこと伝えようとしていました。

遠藤由美子さん(舟渡)
「大沼分校時代」

あさひまちの宝箱
Vol.4

みんなのひろば



若いときの努力は将来の自分をつくる 自分自身が納得できる仕事でみなさんから信用される職人に

屋根。精巧に精密に加工された屋根には美しさがある。屋根を葺いた職人の技術と心が見える。今手掛けているのは銅板の屋根。0・35ミリの薄さに加え柔らかい。ちょっとした衝撃で傷が付き、ゆがみができます。

高校の時、三年間バイトをさせてもらった板金の仕事の魅力が頭から離れず、転職をして四年になります。以前勤めていたところは毎日が同じ作業の繰り返しでした。今の仕事は、様々な工程を経て組み仕上げて完成させる喜びがあります。

夏の炎天下では、目玉焼きが焼けるほどに暑くなり、日射病や脱水症状になることも。逆に冬は指先の感覚がなくなる

ほどに寒い。とりわけ屋根の上では遮るものはありません。でも、たいへんとか苦労とは思いません。若いときの努力は、将来自分の力となる。年を重ねてから頑張ろうとしても限度があると思うし、だからこそ若いうちに努力をして自分の技術力を高めることが、今後の己の糧になると考えるからです。

今年、技能士二級の資格を取得することができました。次は、三年後に一級の資格を取ります。

目標とする職人像は、町内外を問わず信用される職人になること。とにかく今は技術力をより高いものへと向上させたいと思っています。



今輝いて

やるからには1番をめざす！

建築板金

犬飼登志樹さん(真中)

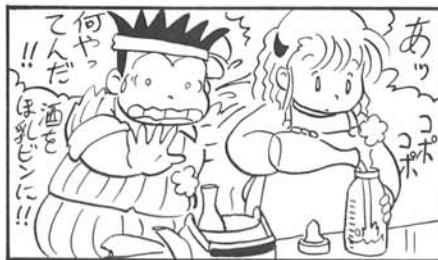
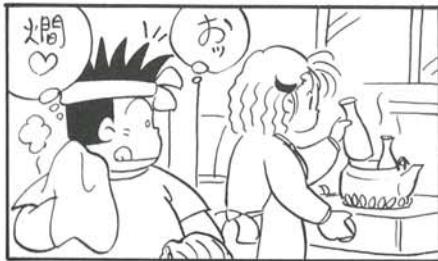


扱いが難しい銅板を加工する作業 取材中も真剣そのもの

地元の建築板金店に勤務し始めて4年。現場での緻密な実技経験と、仕事を終えてからの学科試験の勉強の結果、今年技能士2級の資格を取得する。次の目標は、技能士1級の資格を取得すること。板金工に誇りを持ち、目標にこだわり続ける前向きな姿勢が、彼の姿を輝かせている。

となりの お父さん

作・ホリイ (156)



八ツ沼／
佐竹／

雄玲和広

ちさん
ちゃん

お父さん
家族



今月の新刊

おすすめ本！
「お父さん エライ！」



東京湾景
「今度こそ、信じたい」「バカな女」
舞台に描かれる、寄せては返す強く優しい想い。乾いた身体と醒めた心を潤すラブストーリー。

植木鉢の土
水上勉著
妻子という球根を抱き養う、植木鉢の土になろうと思う。花よりも草に、草よりも土に。「老い」と「病」に立草へ向かいながら絞り出した、珠玉の言葉。48年間の人生を凝縮した渾身の人。

お父さんエライ！——単身赴任二十人の仲間たち 重松清著
単身赴任お父さんの心に直木賞作家が迫る！サラリーマンも公務員も、北海道・九州から上海まで、津々浦々の単身赴任者を一年がかりで徹底取材。家族と離れて家族を思う単身赴任者たちの本音とは。

くろふね

佐々木讓著
ペリーが黒船に乗って浦賀へと来た。徳川幕府の鎖国政策を覆す大事件が始まる。日本人として最初に近代に接し、最後のサムライとして生涯を終えた中島三郎助の生涯を描く、歴史大作。

玲子さんがお嫁にきて1年半。「毎月色とりどりの花が咲く日本の風景が大好き」と話す玲子さん。今年の5月に待望の雄志ちゃんが誕生し、今は育児と家事に大忙しこと。一方、夫の和広さんは、今はりんごの収穫で忙しい時期。「この時期が過ぎたら、雄と一緒に過ごすことで、雄ちゃんの笑顔からもらえるパワーを元気の源にしているようです。あとは、仕事を終えてからの夕食。畑で採れた中国野菜を使っての玲子さん秘伝の手作り餃子が、明日の和広さんを奮い立たせているかもしれません。今夜も、佐竹家のアイドル「大五郎」を囲んでの楽しい食卓が、家族みんなを包み込んでいるのでしょうか。

世界に羽ばたく志を持った立派な人間になってほしい。そんな願いが雄ちゃんの名前に込められています。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさん周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課 企画広報係
(電話：67-2112 フックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

いもがわ少年教室 今年の開催は？

学校の週5日制が定着して随分たちます。

昨年まで西部公民館で『いもがわ少年教室』を数回実施していました、「来年こそ参加するぞ！ 来年も行くぞ！」という子どもの声もありましたが、今年は全く開催されません。

参加した子どもの成長ぶりも見ていて楽しいものです。少年教室の企画は、もうやらないのでしょうか？

頃から、西部公民館の事業にご協力いただき、ありがとうございます。

西部公民館で行っている『いもがわ少年教室』については、今年度も実施します。昨年度より開催時期が遅くなりましたが、全部で四回計画しています。

第一回目は、十一月二十二日

(土) に「八ツ沼城跡歴史教室」を行います。詳細については、今回発行の「お知らせ板」か五百川小学校とお届けする案内チラシをご覧ください。

『いもがわ少年教室』を楽しんでおられる子どもさんにも、よろしくお伝えください。多くの方からの参加をお待ちし

ております。

(西部公民館)

新しい看板の設置で 温度計が見えません



確かに看板が重なって設置されている現場

ご 指摘の看板について、設置者がどちらも山形県である

(匿名希望)



これより 3.7km 区間は、
連続雨量 130mm を超える
と通行止になります。
一時停止25.7分
西村山郡朝日町上齊
～西置賀郡白瀬町大瀬

只今 気温
24℃

ため、さっそく担当課に問い合わせしてみるところに、直接現場を確認したところです。気温を知らせる看板は、左の写真のような内容のものです。この看板がこの場所に設置された理由は三つあります。①大雨の際、通行止めにする区間が、この地点からが最適であること。②設置場所が公共の用地であること。③通行止めにした際、大型車をはじめとする車両をその場で後退させることは困難なため、迂回路として旧国道を利用できる場所とすれば、この地点しかないこと。以上の理由です。

また、車に乗って状況を確認してみたところ、温度計の表示が二桁まで完全に見えるのは、約50メートル手前で達した地点で、法定速度で走ったとしても、十分に確認できる範囲のよう



(建設課)

ご寄付をいただきました。大切に使わさせていただきます。

- 屋外用テント 2張
小山田 寿昭さん(河北町)
- まちづくり寄付金 10万円
阿部 真士さん(常盤)
- 版画 1点
阿部 功雲さん(山形市)
- 医療器具アベッド 5組
小林 シウさん(大沼)
- まちづくり寄付金 50万円
阿部 康子さん(常盤)
- カーブミラー 4基
さがえ西村山農業協同組合・
全国共済農業協同組合連合会山形県本部

設置の際には、その点を十分に考慮した結果のことです。ご理解のほどをよろしくお願ひいたします。ご意見ありがとうございました。

した。

設置の際に、その点を十分に考慮した結果のことです。

ご理解のほどをよろしくお願ひいたします。ご意見ありがとうございました。



■10月1日～31日



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
栗木沢	白田 翔也	男	健太郎・恵
大谷三	佐藤 楓	男	学・道代
元町	渡辺 悠月	男	友和・絹代
元町	清野 皓太	男	浩之・千春



おしあわせに

熊谷 忍 (小原)	今野 歩 (河北町)
相座俊晴 (送橋)	鈴木陽子 (山形市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大谷五	白田カツ子	正昭
大谷六	小野榮多	喜美子
常盤	佐竹のぶ	孝吉
西原	峯田すいの	貞昭
大滝	柴田敬一郎	誠一
杉山	鈴木こしん	竹次郎
四ノ沢	清野清吉	精一郎

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成15年10月31日現在
人口 9,114人(減4人)
男 4,518人(増1人)
女 4,596人(減5人)
世帯数 2,583戸(減1戸)
()内前月比

お断り…

これまで永く続いてきた「さわやか新婚さん」。なんとかつないできたこのコーナーを今回お休みいたしました。代わって「さわやか家族」を掲載ましたが、今後も新婚さんがいらっしゃらない月であれば、同様の掲載内容とさせていただきますので、あらかじめご理解の程をよろしくお願ひします。

アニータ先生の楽しい英会話

クロスワードパズルに挑戦してみよう！

PLEASE TRY THIS HALLOWEEN CROSSWORD:

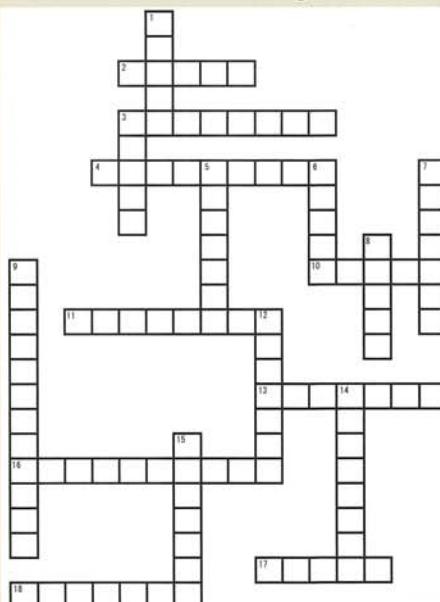


HALLOWEEN

In Autumn, every year, on the 31st October, there is a festival. The name of this festival is Halloween.

Children dress in scary costumes, adults have parties.

Many people go from house to house on Halloween night to get candy. This is called Trick-or-treating.



CLUES:

Down (縦)

- Witches have __cats.
- Halloween costumes are __
- What month is Halloween?
- At __you can see the stars.
- An orange vegetable.
- A woman who uses magic.
- Used as a mask to scare people. M __ Head.
- __live on a web.
- Children dress up in __
- Vampires sleep in these.

Across (横)

- A sweet food, children love.
- A __is only bones.
- An autumn festival on 31st October.
- __or Treat.
- __only come out at night. They suck blood.
- A famous vampire.
- A graveyard full of __
- What monsters haunt old houses.
- Halloween __are fun to go to.

Halloween, Vampires, October, witch, spiders, Trick, ghost, headstones, coffins, parties, night, pumpkin, costumes, candy, skeleton, Dracula, black, scary, monstershead

朝日町の原風景 写真コンテスト作品 vol.8

佳作 棚田で働く



教員として子どもたちの写真を撮ることが、写真をはじめたきっかけです。宮宿小学校や上郷小学校にもお世話になりました。

日本の棚田百選にも選ばれているこの棚田には、年に何回か訪れて写真を撮っています。この写真は、田んぼで働くおじいさんのたくましさと、家族で田んぼを大事にしている姿と、棚田の風景が入っていて良い写真だと思い応募しました。

これからも様々な風景と人々の生きている姿を写真にしていきたいです。

撮影者 安藤堅一さん(寒河江市)

春 夏 秋 冬

編集後記

毎朝、ふとんの温もりがもつたいたなくて、「あと五分。もう三分」という日が続いています。我が家には、早寝早起きでいつも元気なひよこがいるので、それに合わせて目を覚ましてしまった。私の体は、遅寝早起きで年中が寝不足の状態です。「文化の日」や「勤労感謝の日」がある十一月は、「ゆとり創り月間」。みんなも暮らしのゆとりについて考えるのはいいがでしよう。このところ、毎食のごはんがとても美味しい気がします。でも、食べられるということは、

健康である証拠ですね。やはり健康第一です。
ただ、摂取力ロリーや消費力結果、お腹の周りがちょっと心配になってきているのが衰しいです。それに練習不足も相まって、十年ぶり二度目の優勝をかけたアツブル駅伝でしたが、四ヶ月もの貯金をいたいたのに、四ヶ月のうちにファニッシュシュのチームのみんなにごめんなさい。

早朝の小さな背くらべ
しもばしら
(はやけん)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。